理 科

教科名	理科	科目名	自然科学研究(地学分野)
科目の目標	(1)地球や宇宙に起こる現象についての概念や原理、法則の理解を深める。 (2)地球と宇宙に関する事柄の、時間的及び空間的なスケールを正しく理解する方法を学ぶとともに、それらを分析的、総合的に考察する能力と態度を身に付ける。 (3)観察や実験を通して、自然と人間の関わりについての科学的な理解と認識を確かなものにする。		
履修学年	3年	類型	文系
単位数	3単位	履修形態	選択
教科書	新編 地学基礎 (数研出版)	副教材等	三訂版リードα地学基礎(数研出版) 改訂版フォトサイエンス地学図録(数研出版)

①学習の目標

地球や宇宙に起こる現象についての概念や原理、法則の理解を深め、正しく理解する方法を学ぶとともに、それらを分析的、総合的に考察する能力と態度を身に付ける。
 観察や実験を通して、上記の学習を深め、自然と人間の関わりについての科学的な理解と認識を確かなものにする。

②学習内容と授業の進め方

授業中心に解説・実験・問題演習を行う。

③学習に当たっての留意点

- (1)授業時間内では、演習する時間が十分に取ることができないので、家庭学習で取り組むこと。
- (2)実験による確認ができない内容は、図説(資料)を効果的に活用すること。
- (3)物事を筋道を立てて考える習慣をつけること。

④評価の観点

(1)関心・意欲・態度 【関】	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。
(2)思考・判断 【思】	観察・実験などを通して、自然の事物・現象の中に問題を見だし、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察し、科学的に判断する。
(3)観察・実験の技能表現 【技】	観察・実験の技能を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け、それらの過程や結果を的確に表現する。
(4)知識・理解 【知】	観察・実験などを通して自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

⑤評価の方法

定期考査の結果、授業や実験に取り組む姿勢・態度、実験レポートの内容などにより、総合的に評価する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法(観点項目を記入)
4	第3編 大気と海洋	地球の熱収支 大気と海水の運動	演習問題①【思】【技】【知】 前期中間考査【思】【技】【知】 ノート提出【関】【知】
5	第4編 地球の環境	日本の自然環境	
6	第5編 宇宙の構成	太陽の活動 太陽の一生 恒星の明るさ	演習問題②【思】【技】【知】 前期末考査【思】【技】【知】 ノート提出【関】【知】
7	活動する地球	地球の構造・プレートの運動・地震 地殻変動・火山	
8	移り変わる地球	地層の形成・古生物の変遷と地球環境	
9			
10	大気と海洋	地球の熱収支・大気と海水の運動	演習問題③【思】【技】【知】 後期中間考査【思】【技】【知】 ノート提出【関】【知】
11	地球の環境	日本の自然環境	
12	宇宙の構成	太陽の活動・太陽の一生・恒星の明るさ	
1			小テスト